

PressPad

電子出版の仕様解説書

2016Jan-01 版



PressPad の電子出版に関する製品仕様の詳細をまとめております。
本内容については、今後の仕様変更、またはご使用方法により内容が適用されない場合がございます。

電子出版の申請方法（アプリの作成）

電子出版されたい刊行物の PDF をご用意いただき、申請フォーム (<http://presspad.jp/publishing.html>) から簡単に申請できます。

PDF のファイルサイズ

1 誌（1 号）あたり最大 300MB まで対応していますが、50MB 前後を推奨しております。ファイル容量が大きくなるほどダウンロードに時間がかかってしまい、使い勝手が悪くなり、ユーザー離れの原因ともなります。ファイル容量が大きい場合は、Adobe Acrobat にて「PDF の最適化」を行ってサイズを小さくしてください。最適化の中でも画像の解像度を低くすることが最も効果的です（下記、「解像度」を参照）。最適化についてはこちらをご参照ください。

http://help.adobe.com/ja_JP/acrobat/using/WS58a04a822e3e50102bd615109794195ff-7c88.w.html

PDF ファイルが複数ファイルで構成されている場合

1 誌（1 号）の PDF ファイルが複数ファイルで構成されている場合は、1 つのファイルに結合してください。結合は、Adobe Acrobat で簡単に行えます。手順についてはこちらをご参照ください。 <http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/4567.html>

単一ページの PDF ファイル

レイアウト上やむを得ない場合を除き、見開き（本誌 2 ページ分を PDF1 ページ）ではなく、単一ページ（本誌 1 ページにつき PDF1 ページ）の PDF を作成してください。スマホやタブレットでは縦で読むのが一般的なため、縦表示の中に見開きを表示すると、かなり小さく表示されてしまい、都度拡大表示しながら読み進める必要があり、使い勝手が悪くなってしまいます。なお、単一ページ PDF であっても、端末を横向きにした時にアプリ側で自動的に見開き表示にする機能が搭載されています。

Adobe InDesign からの PDF ファイルの生成

PDF ファイルではなく、Adobe InDesign のファイル (*.indd) しかお持ちでない場合は、Adobe InDesign から PDF ファイルを生成したうえで、弊社にお送りください。手順についてはこちらをご参照ください。

<http://helpx.adobe.com/jp/indesign/kb/2305.html>

ePub 形式の電子書籍

PressPad は PDF 形式にのみ対応しております。ePub 形式で作成されている場合は、ソースファイル（原本）を PDF 形式に変換してから弊社にお送りください。

フォントのアウトライン化と埋め込み

文字化けやフォントの置き換え、文字の欠落などの予期せぬエラーが発生する可能性があるため、フォントは全て埋め込んでいただくか、全てアウトライン化されることを推奨いたします。

ハイパーリンク

PressPad アプリはハイパーリンクに完全対応しています。ただし、PDF 内にハイパーリンクが作成されている場合に限りです。

Adobe Acrobat を使えば、ハイパーリンクを簡単に作成できます。手順についてはこちらをご参照ください。

<http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/4613.html>

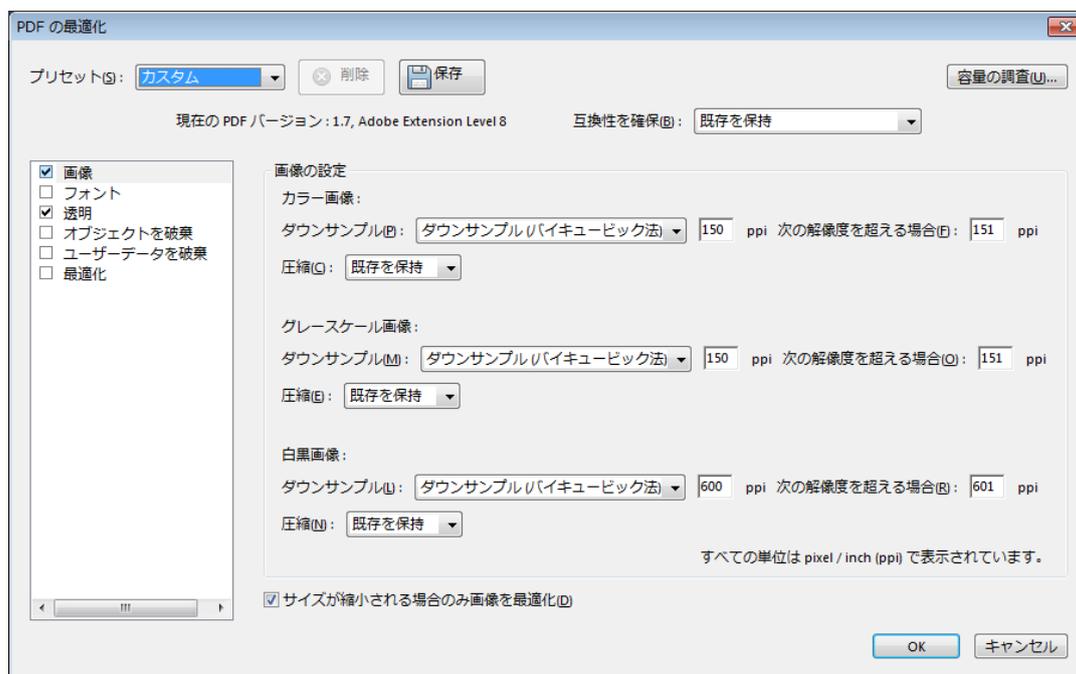
動画や音声の埋め込み

PressPad のアプリは動画や音声のコンテンツ内再生に対応しています。動画や音声を YouTube、Vimeo、SoundCloud にアップロードし、それらへのハイパーリンクを PDF 内に設定すれば、PressPad のアプリが自動的に認識して、コンテンツ内（ポップアップ画面内）で再生ができます。PDF 内に動画や音声ファイルを直接埋め込むと、ファイルサイズが大きくなり電子書籍としての使い勝手が大きく低下します。この機能を使うことにより、軽快かつシームレスで使いやすい電子書籍アプリが構築できます。これは Pro アカウントで使用できます。

解像度

高解像度の画像が多く含まれていると、ファイルサイズが大きくなる一因となります。一般的にディスプレイ表示用の推奨解像度は「カラー 150ppi」「白黒 600ppi」と言われています。これよりも高い解像度にしても、スマートフォンやタブレット上での見た目にはほとんど違いがありません。ファイルサイズの無駄な肥大化を防ぐため、解像度をこれらの数値以下にすることを推奨いたします。

Adobe Acrobat の「PDF の最適化」にて、下記のように設定することで解像度を低くできます。



色空間

現在のスマートフォンやタブレットでは、CMYK カラーの再現性が完全ではなく、CMYK カラーで作成された PDF の色が一部変わって見える場合があります。これは、色空間を sRGB カラーに変換することで、回避できます。色空間の変換は Adobe Acrobat の「プリフライト」機能を使うと簡単に変換できます。

- (1) 対象の PDF ファイルを Adobe Acrobat で開く。
- (2) [表示] メニューの [ツール] - [印刷工程] をクリック。
- (3) サイドバーの [プリフライト] をクリック。
- (4) [PDF フィックスアップ] をクリックして、[sRGB に変換] を選択。
- (5) [解析してフィックスアップ] ボタンをクリック。
- (6) [PDF ファイルを保存] ダイアログボックスでファイル名と書き出し先を選択して実行。

電子版用の再編集

スマートフォンやタブレットでの閲覧は、横向きにすると見開きで表示されるようになっていきます。これは紙版と同じように、表紙は単独ページで表示され、以降、偶数ページと奇数ページが見開きで表示されます。電子版用に再編集する際、ページの削除・追加により、見開きがずれる場合がありますので、ご注意ください。ずれが発生している場合は、空白ページなどを表紙直後に 1 ページだけ挿入することで回避できます。

商標関連の表記について (Apple)

App Store で表記される商標関連の表記は、「開発」「販売元」「コピーライト」の3つです。このうち「コピーライト」のみ変更頂けます。ご指定が無い場合は、アプリの作成年号と当該アプリ名となります。(例: © 2015 MagazineXX) ただし、この項目はストア内での検索対象にはなっていないため、検索結果には影響しません。

商標関連の表記について (Google)

Google Play で表記される商標関連の表記は、「提供元 (デベロッパ)」「デベロッパのメールアドレス、住所、プライバシーポリシーリンク」です。これらはいずれも変更することはできません。その代わりに説明文にコピーライトの文章を挿入することが可能です。ご指定頂ければ設定いたします。これは検索結果には影響するため、例えば出版社名の表記を追加した場合は、Google Play 内でその社名を検索した際に検索結果として表示されるようになります。

コンテンツのコピーおよび印刷のプロテクション

PressPad アプリ内のコンテンツは、コピーおよび印刷はできないようになっております。コンテンツを端末内にダウンロードしても、そのダウンロードした端末のアプリ内でしか見ることはできません。ただし、スクリーンショットを撮ることは可能です。これは端末の仕様上、回避できません。

試し読みの設定

PressPad のアプリは、購入しなくても数ページを読むことができる「試し読み」機能があります。PressPad では、アップロード頂いた PDF の前半数ページが自動抽出され、試し読みに設定されます。なお、任意のページを試し読みに設定することも可能ですが広告を目的に使用する事は出来ません。PDF ファイルのページ数をご連絡頂ければ、弊社にて設定いたします。

アプリの審査 (Apple)

Apple は独自の審査基準により、アプリの審査を行っています。内容によってはリジェクト（却下）される場合があります。リジェクト（却下）された場合は、その理由について Apple から連絡があります。それに従って修正が可能であれば修正を行い、再審査の申込を行います。再審査は何度でも可能です。通常はご依頼頂いてから約 2 週間で App Store に掲載されますが、お申込みの内容や混雑状況、Apple の審査状況や結果等によっては、これよりも時間がかかる場合があります。

アプリの審査 (Google)

Google の場合、審査はありません。アプリ掲載手続きが終わると数時間後にストア（Google Play）に公開されます。通常はご依頼頂いてから約 5 日で Google Play 上に公開されます。ただし、お申込みの混雑状況等によっては、これよりも時間がかかる場合があります。

コンテンツの追加 (バックナンバーや新刊の追加)

電子出版申請フォーム (<http://presspad.jp/publishing.html>) からアップロードおよび申請をお願いいたします。Apple、Google ともにアプリが公開されていれば、審査不要のため、掲載までのお時間はかかりません。基本的には当日中にアプリに反映されます。

コンテンツ数の制限

1 つのアプリ内には、いくつでも（何冊でも）掲載することが可能です。また、全体容量に制限はありません。

掲載日の指定 (初めてアプリを作成する場合)

Apple の審査は通常約 2 週間かかります。そのためアプリのリリース日（掲載開始日）をご指定頂く場合は、事前にアプリの作成と申請・掲載準備を終えておく必要があります。スケジュールについては弊社にご相談ください。

掲載日の指定 (バックナンバーや新刊の追加)

アプリが作成・公開されていれば、そのアプリへのバックナンバーや新刊の追加は、基本的にはアップロード頂いた当日中に反映されます。事前にお送り頂く場合、または掲載時間のご指定がある場合は、弊社サポート担当にご連絡ください。

コンテンツへの課金 (出版物の販売)

スマートフォンやタブレットの端末利用者は、各ストア事業者（Apple または Google）に支払情報を登録しているため、コンテンツの支払はそれらを使って自動的に決済されます。そのためコンテンツ購入者との直接の決済は発生しません。売上は PressPad が代行してストア事業者から一括集金し、お客様へ還元金が発生する場合は、PayPal または銀行振込にてお支払いいたします。

販売価格の通貨

Apple iOS アプリの売上は US ドル（\$）、Google Android アプリは日本円（¥）で管理されます。Apple iOS アプリは、日本国内において円（¥）で購入した場合もドル（\$）に換算されます。なお、還元金の計算・お支払は円（¥）で行います。

販売レポートおよび売上金の支払

当月分のデータを翌月上旬に集計してレポートをお送りします。レポートには、日付別およびストア別に、アプリ内の刊行物のダウンロード数や売上額等が集計されます。(Pro アカウントが対象です)

お支払いはこのレポートが発行された月の翌月中旬に実行されます。(例：10 月分の実績について、11 月上旬にレポートを発行、12 月中旬にお支払。)なお、還元金が 10,000 円に満たない場合は保留を行い累計が 10,000 円を超えた月にお支払いをします。

コンテンツの課金方法 (出版物の販売方法)

Apple は、単品購入または 1、2、3、6、12 か月の定期購読契約 (サブスクリプション契約) の設定が可能です。

Google は、単品購入または 1、12 か月の定期購読契約 (サブスクリプション契約) の設定が可能です。

「6 か月と 12 か月」といったように、2 つの定期購読期間を設定することも可能です。Apple Newsstand アプリとして公開する場合は、定期購読設定が必須となります。バックナンバーのみ単品購入可という設定はできません。

販売価格の変更

販売価格の変更・追加はいつでも可能です。特別号だけ別の価格にするといったことも可能です。

ご連絡頂ければ弊社にて設定いたします。

試し読み機能

PressPad のアプリには、試し読み機能があります。これは予め設定されたページを無料で読めるようにするものです。本屋での立ち読みと同様、その雑誌や本を購入するかどうかの判断として、多くの読者が試し読みを先にダウンロードします。そのため、試し読みの内容が販売数 (売上) に影響する場合があります。PressPad では、前半の数ページを自動抽出したものが設定されますが、これは任意のページを設定することが可能です。容量やページ数に制限はございません。PDF でのページ数をお知らせ頂ければ、弊社にて設定いたします。

無料購読期間の設定

新刊などの販促のため、定期購読の申込みに無料購読期間を設定する事が出来ます。

これにより購読者は定期購読の申込み前に一定期間試し読みをすることができますので、新刊などの購読者を増やすために有効です。

設定期間は、最低 7 日以上であれば自由に期間を選択する事ができ、また何時でも変更する事も可能です。

定期購読者のバックナンバー閲覧機能

定期購読者は契約期間内であれば、バックナンバーを全号読むことができるようになっています。これはアプリの仕様で、少しでも定期購読者を増やすための機能となっております。

掲載停止や差し替え

掲載停止や差し替えはいつでも可能です。ご連絡頂ければ弊社にて設定いたします。

アプリの掲載 (利用) 期間

契約期間はございません。開始 3 カ月は解約できませんがその後いつでも解約 (アプリの公開停止) が可能です。解約手数料は発生しません。

プッシュ通知

Apple、Google、Amazon すべてに対応しています。内容と配信日時をご連絡頂ければ、弊社にて設定・配信いたします。

1つのアプリで「5回/月」送信できます。(Pro アカウントで対応)

【プッシュ通知とは】

スマートフォンやタブレットにおいて、アプリをダウンロードしたユーザーに、外部からメッセージを送信できる（プッシュできる）仕組みです。新刊情報のお知らせなどに使うと効果的です。ただし、ユーザー側の設定で、プッシュ通知の受け取りを拒否することもできるため、ユーザーに必ずメッセージを送信できるわけではない、という点にご注意ください。

PressPad Lounge（アプリ内有料コンテンツの無料閲覧エリア設定）

Apple iOS 7以降に搭載された iBeacon の技術を活用したもので、端末がビーコンの電波を受信すると、「PressPad Lounge」に対応したアプリ内の有料コンテンツが全て無料で閲覧できるサービスです。このサービスは今後、ラウンジ、ショールーム、イベント会場、クラスルームなどのエリア内だけの特別なサービスとして設置エリアへの誘導・集客のみならず、クーポン発行、限定情報提供などにも対応可能です。

【 特徴 】

1. 必要なシステムとサービスを PressPad がすべて提供します。
 - PressPad で製作されたお客様専用のアプリをそのままお使い頂けます。
 - ビーコンを設置するだけでサービスを開始できます。
2. ビーコンは超小型で電源・ネットワークは必要ありません。
 - 内蔵電池だけで稼働し、Bluetooth でスマートフォンやタブレットと通信します。
 - 最大約 70 メートルの範囲をカバーします。
3. 個別ビジネスモデルに対応したサービスをご提供します。
 - PressPad が個別設定済みのビーコンを提供します。
 - イベント会場などの短期使用にも対応しています。

【 その他 】

「PressPad Lounge」は PressPad 電子出版サービスの新たなサービス製品です。

月額使用料（ビーコン 1 台込み）でご利用頂けます。

（※ 設定、導入費用が別途必要です。）

PressPad Promo Code

アプリの PR や販促等のためにプロモーションコードを発行することができます。ユーザーがプロモーションコードをアプリに適用することで、そのコードに設定されたアプリ内コンテンツを設定された期間内だけ無料で読むことが出来るようになります。プロモーションコードは URL 形式になっており、当該アプリがインストールされた端末でその URL を開くことで、自動的にアプリにそのコードが適用されます。無料閲覧の設定期間は（1 時間、1 日、7 日、1 ヶ月、2 ヶ月、3 ヶ月、6 か月、1 年）の中からお選び頂けます。アプリ内コンテンツは、アプリ内の全てまたは特定のコンテンツ（例：2015 年 5 月号）をお選び頂けます。発行されたプロモーションコードの使用期限はありませんが、1 回限りの使用となります。1 つのコードを複数のユーザーが使ったり、同じユーザーが複数の端末に適用することはできません。このサービスはオプションです。コード数、コンテンツ、設定期間をご連絡頂ければ、弊社から発行いたします。(Pro アカウントで対応)

コンテンツ（アプリ）の販促活動

電子出版の第一歩は誰にでもアクセス可能なメディアにコンテンツを掲載する事から始まります。PressPad は Apple、Google が提供する世界的で質の高いメディア（App Store、Google Play）に掲載します。日本国内だけでなく世界中で使われているすべてのスマートフォンやタブレットで閲覧できるため、リアルタイムで全世界のユーザーに配信する手段が手に入ります。しかし、だからといってこのメディアに載せていれば自然と売上が向上するという仕組みにはなっていません。通常の紙媒体と同様に、積極的かつ継続的な販促活動が必要です。電子出版はインターネット上に存在するという理由から、SNS（Facebook、Twitter など）や HP などといったオンライン上での販促活動を利用することが必須です。PressPad でも新規出版物として自社サイト、SNS のページで告知活動を行っておりますが、特に発行元の企業様、編集ご担当者様などから随時情報を発信する事が一番効果的で集客数も高くなります。さらに、既存の紙媒体に告知を入れたり、ダウンロードサイトの URL を埋め込んだ QR コードを発行して印刷物や名刺に印刷するなど、オフラインからオンラインへの誘導も重要です。

ご不明な点がございましたら、support@presspad.jp 宛にご連絡ください。



株式会社デー.アンド.イー（PressPad 日本総代理店）

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー15階

TEL : 03-5456-5151 (代)

Mail : japan@presspad.jp